

総合体育館トレーニング室の存続について（案）

1. 現状

現トレーニング室は、年間4万人前後の利用者があり、そのうち3割弱が市内在住65歳以上の高齢者の利用である。多くの人から余熱利用施設の整備に伴う機能移転や新施設の利用料金に対して意見が寄せられているので、既定方針の機能移転に加えて存続の可能性を検討する。

2. 存続の方向性

余熱利用施設のトレーニングルームの内容は、民間施設並の充実したものが事業者から提案されている。総合体育館トレーニング室を存続するならば、余熱利用施設を利用する高齢者に対して補助はしない。現状を踏まえ、新たな方向性は、これまでの利用者のトレーニング習慣を大切にしながら生涯スポーツの振興とし、余熱利用施設との住み分けを図る。

存続にあたっては、経費を抑えるためトレーニング機器の種類や台数の厳選と、費用負担として使用料の値上げも含めて必要な方策を検討する。

（参考）近隣類似施設の料金（域内、2時間で換算）

施設名	一般料金	高齢者料金
草津市立総合体育館	500円	240円
近江八幡市立健康ふれあい公園トレーニングルーム	400円	設定なし
竜王町総合運動公園ドラゴンスポーツジム	410円	200円
湖南省総合体育館トレーニング室	400円	設定なし
滋賀県立栗東体育館	300円	設定なし
皇子山総合運動公園陸上競技場トレーニングルーム	400円	300円